

(5月22日) : 株式市場は2営業日続けて下落

弱い買い需要と利益確定圧力に押され、VN 指数は 2 営業日連続で下落することになった。

164 銘柄が値下がりし 131 銘柄が上昇した。VN 指数は 0.25%下落し、983.78 ポイントで取引を終了した。

出来高は 1 億 7500 万株で、売買代金は 3.9 兆ドンであった。前日比それぞれ 15.3%、58.8%ほど下落した。相対取引では 4770 万株が取引され売買代金にして 1.05 兆ドンほどだった。

銀行セクターが水曜日の主役に躍り出た。前場には、投資家は銀行が第二四半期に好決算を発表することを期待しての買い需要が集まった。しかしながら、ベトナム銀行 (VCB)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG)、HD バンク (HDB)、エクシムバンク (EIB) などは後場にわずかに調整した。

その他の銘柄は上昇を維持したが、前場ほどの上昇幅はなかった。例えば、ベトナム投資開発銀行 (BID)、VP バンク (VPB)、ベトナム産業貿易商業銀行 (CTG) はそれぞれ 0.45%、0.53%、1.41%ほど上昇し、32,200 ドン、19,100 ドン、21,550 ドンで取引を終えた。

ビンホームズ (VHM)、ビナミルク (VNM)、ペトロベトナムガス (GAS)、ビンコムリテール (VRE) などの多くの大型株は下落した。ビンググループ (VIC)、サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB)、サコムバンク (STB)、TP バンク (TPB) などは変わらずだった。

FLC ファロス建設 (ROS) は出来高トップで 950 万株が取引されたが、2.6%安の 31,600 ドンで取引を終えた。ペトロベトナムドリリング (PVD) は 2 番目の出来高で、530 万株が取引され、1.8%安の 20,800 ドンで取引を終えた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.15%安の 106.13 ポイントで取引を終えた。77 銘柄が下落したのに対し 60 銘柄のみが上昇した。

出来高は 93.7%、売買代金で 102%上昇し、それぞれ 5300 万株と 6450 億ドンであった。相対取引で 1430 万株、2070 億ドンが取り引きされた。

ハノイ市場の時価総額上位 10 銘柄の中では、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、ビコストーン (VCS) はそれぞれ 0.68%、0.32%上昇し、29,600 ドン、62,800 ドンで取引を終えた。

ドゥックザン洗濯用洗剤化学製品 (DGC)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS)、P V I ホールディングス (PVI) は 1.28-4.35%下落し、サイゴンハノイ銀行 (SHB) は変わらずで取引を終えた。

SHB は出来高が 940 万株で前日に比べて 600 万株ほど上昇した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。